

認知症高齢者への対応

― 北区医師会の取り組み ―

太田 祥彦

増加する認知症高齢者への対応には、国ももちろんですが、我々地域医療を担当するものも苦慮しているのが現状とされています。2002年で149万人存在した自立度Ⅱ以上の認知症高齢者が、2025年には323万人に増加すると予想されているように、今ある社会資源だけでは対応しきれない状態になるのは明らかと言われております。アルツハイマー型に代表される認知症に対しては、心のケアを基本に、またいつもの人間関係となじみの居住環境の中で、状態の変化に応じた「専門性」と「継続性」を備えつつ、本人の意思に留意しながらの医療が必要とされます。加えて本人のみならず家族に対するケアも重要で、そこに潜在する介護拒否、虐待などの問題にも注意していかねばなりません。そういった対応をするのには当然、医療だけでは十分とはいえず、多くの看護・介護スタッフの協力が必要となり、そういった人たちの育成も喫緊の課題であると思われます。

医師、特に医師会を中心とした対策としては、近年新設された国立長寿医療センターが中心となり、日本医師会がそこに協力す

る形で認知症サポート医研修、かかりつけ医対応力向上研修が行われ、それぞれが地域包括支援センターや実際に目の前に来る認知症患者に関与していくといったシステムを構築しつつあります。大阪市北区医師会におきましては、大淀医師会と協力し、北区地域包括支援センターや北区役所の担当部署、患者団体、施設担当者、ケアマネージャとともに「にこりんく」という一種の協議体を形成し、地域の高齢者対策を考えてきました。また、従前より六師会を中心として在宅医療推進協議会を運営して、高齢者認知症患者対策を含め地域医療の改善を目指しています。本稿ではそれらを中心に平成23年度の活動を振り返ってみたいと思います。

平成23年6月2日に今年度最初の会合が持たれ、各団体のおかれている現状、ならびに今年度も活動目標を報告しました。そして「にこりんく」自体としては今年度も事例検討会と講演会を行うことを決定いたしました。

11月10日には第二回目の連絡会がありました。ここでは事例検討会と講演会の詳細が検討され、大筋が決まりました。

平成24年1月19日には北区医師会会議室で事例検討会が行われました。大阪市社会福祉研修・情報センターの沖田裕子氏をスピーカーバイザーに招聘し、認知症末期患者に対する老老介護の症例提示のあと、グループに分かれディスカッションを行いました。

前年を大きく上回る108名の参加が得られました。
 また3月15日には北区民センターでバリデーションを題材に講演会を行います。関西福祉科学大学社会福祉学科准教授の都村尚子先生から、認知症患者とのコミュニケーションの技法を学ぶ予定となっております。

平成21年度 『にこりんく』 活動状況

	日 時	内 容	場 所
第1回連絡会	9月3日(木) 午後2時～3時30分	○各機関から活動状況等の報告及び情報提供	北区社協 4階会議室 23人参加
		北区の居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)に対し、との連携にかかる実態把握のためのアンケートを実施	かかりつけ医
第2回連絡会	11月5日(木) 午後1時30分～3時	○かかりつけ医に対するアンケート(ケアマネタイム)の内容について ○事例検討会について ○シンポジウムの開催について (テーマ、対象者、講師、周知方法等)	北区社協 4階会議室 23人参加
		北区・大淀医師会の在宅医療に携わる医療機関に対し、ケアマネジャーとの具体的な連携方法に関するアンケートを実施	
第3回連絡会	1月7日(木) 午後1時30分～3時	○アンケート結果の報告 ○北区の支援連携図について ○事例検討会について ○シンポジウムの開催について	北区社協 4階会議室 20人参加
事例検討会	2月4日(木) 午後2時～4時	かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問介護、訪問看護等の多職種でグループを形成し、意見交換を行なう。 スーパーバイザー：大阪市社会福祉研修・情報センター 税所幸子氏 参加者数：医師8名(北区医師会5名、大淀医師会3名) その他62名	北区役所 4階会議室 70人参加
第4回連絡会	3月4日(木) 午後1時30分～3時	○北区の支援連携図について ○シンポジウムの開催について(役割分担等)	北区社協 4階会議室 22人参加
シンポジウム	3月20日(土) 午後2時～4時	テーマ：「ともにつくろう！笑顔の輪 認知症のにこりんく」 対象者：区民及び医療・介護・保健・福祉関係者 講師：住友病院 内科系副院長 宇高不可思氏	北区民ホール 380人参加

平成22年度 『にこりんく』 活動状況

	日 時	内 容	場 所
第1回連絡会	6月17日（木） 午後2時～3時	○シンポジウムの実施報告について ○平成22年度の活動計画について	北区社協 4階会議室 19人出席
第2回連絡会	8月26日（木） 午後2時～3時	北区認知症高齢者支援のリーフレット作成	北区社協 4階会議室 21人出席
第3回連絡会	12月2日（木） 午後2時～3時	○リーフレットの配布等について ○事例検討会について ○研修会について	北区社協 4階会議室 18人出席
事例検討会	1月27日（木） 午後2時～4時	かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問介護、訪問看護等の多職種でグループ検討 スーパーバイザー：大阪市社会福祉研修・情報センター 沖田裕子氏 【医師会・包括・ケアマネ連絡会の共催】 参加者数；医師10名（北区医師会8名、大淀医師会2名）その他70名	北区役所 4階会議室 80人参加
講演会	3月24日（木） 午後2時～4時	テーマ「認知症の方とのコミュニケーション法～こころに届く！バリデーション～」 講師：関西福祉科学大学社会福祉学部 准教授 都村尚子氏	大阪市立住まい情報センター 3階ホール 285人参加

平成23年度 『にこりんく』 活動状況

	日 時	内 容	場 所
第1回連絡会	6月2日（木） 午後2時～3時	○平成22年度の活動報告について ○平成23年度の活動計画（案）について	北区社協 4階会議室 21人出席
第2回連絡会	11月10日（木） 午後2時～3時	○事例検討会の開催について ○講演会の開催について	北区社協 4階会議室 19人出席
事例検討会	1月19日（木） 午後2時～4時	かかりつけ医、ケアマネジャー、サービス提供事業者、地域、行政等の多職種でのグループ検討 スーパーバイザー：大阪市社会福祉研修・情報センター 沖田 裕子氏 【ケアマネ連絡会との共催】	北区役所 4階会議室 108人参加
講演会	3月15日（木） 午後2時～4時	テーマ 『認知症の人とのコミュニケーション』 認知症の人とのコミュニケーション技法の一つである「バリデーション」をテーマに認知症の理解のための講演会を開催 対象者：区民、民生委員、ネットワーク委員等 医療・介護・保健・福祉関係者 講 師：関西福祉科学大学 社会福祉学科准教授 都村 尚子氏	北区民センター

※ 太線枠は、認知症高齢者地域ケア推進強化事業（大阪市認知症対策事業として地区医師会への委託）との共催